

四つの男声合唱の集い

第40回記念演奏会

2022年5月1日(日)

13:15 開場 14:00 開演

あましんアルカイックホール

ANCORの会

ごあいさつ

本日はご多用の中、「四つの男声合唱の集い」第40回記念演奏会にご来場賜わり誠にありがとうございます。

この第40回記念演奏会は、一昨年開催の予定で準備を進めておりましたが、一昨年、そして昨年と新型コロナウイルスの影響により会場が閉鎖され、開催を断念せざるを得ませんでした。今年になってもなかなか状況は好転せず、再度開催を危ぶむ声も多数ある中、一方で大勢の方から、期待と励ましのお言葉を頂き、「今年こそ私たちの練習の成果を是非聴いて頂きたい」との思いを込めて、3年ぶりの開催に踏み切りました。

思い起こせば、1981年(昭和56年)に、アルマ・マータ・クワイア、南漣会合唱団、コール・アカデミー関西OB会、六甲男声合唱団、の4つの合唱団が集まり、「四つのOB男声合唱の夕べ」として、初回の演奏会を開催、翌年からは、これに大阪男声合唱団が加わり、「五つのOB男声合唱の夕べ」といたしました。

また、第6回からは、それぞれの団の頭文字をとって、愛称を「ANCORの会」とし、演奏会を続けて参りました。

5年前の第37回からは、コール・アカデミー関西OB会が休会となり、名称を「四つの男声合唱の集い」と変更いたしました。第39回まではコール・アカデミー関西OB会のメンバーも合同演奏に参加し、愛称の「ANCORの会」はそのまま、演奏会を継続させて頂いております。

40余年の歳月を経て、構成メンバーも、高齢化と共に大半が入れ替りましたが、初回から出演を続けているメンバーもあり、老若切磋琢磨しながら、活動を続けている現況であります。

今回は、第40回の記念演奏会として、昭和・平成・令和の長きにわたり培われた私たちの“絆”をテーマに演奏させて頂きます。どうぞ、最後までお楽しみ下さい。

A	アルマ・マータ・クワイア	大澤	孝
N	南漣会合唱団	尾崎	納
C	コール・アカデミー関西OB会	後藤	玲嗣
O	大阪男声合唱団	本城	正博
R	六甲男声合唱団	永井	哲郎



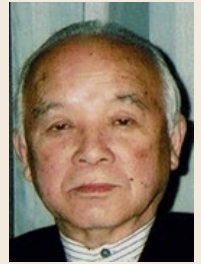
第38回演奏会合同演奏 (2018年5月20日、兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール)

「ANCORの会」40周年に想う

元南漣会合唱団指揮者 今西弘一

1981年5月9日、大阪森ノ宮ピロティホールで「四つのOB男声合唱の夕べ」が開催されました。これが「ANCORの会」活動のスタートでした。

参加団体はアルマ・マータ・クワイア、六甲男声合唱団、コール・アカデミー関西OB会、南漣会合唱団の4団体です。うち六甲男声と南漣会は、1955年大阪で始まった現役学生による旧三商大（一橋大・神戸大・大阪市大）交歓演奏会を、以後毎年持ち回りで開催していたつながりがありました。またアルマ・マータ・クワイアは、京大OB中心ながら、オープン化された合唱団で、南漣会の石井欽三さんたちも参加していたことから、3団体の関係者が集まりやすかったのです。加えて、当時は大学男声合唱団が隆盛を極めていた一方で、OB合唱団は人数も低迷していました。そこで3団体の幹事が集合してジョイントコンサートを企画したわけです。



幹事たちの相談が始まったときに、その話を聞きつけた当時コール・アカデミー関西OB会代表であった、大阪市大工学部教授の三輪雅久さんから、ぜひ参加したいと申し入れあり、いよいよ「四つのOB男声合唱の夕べ」開催となりました。

盛会裡に終えた打上会では、当時の関西合唱連盟会長であられた長井斉さんが、「阪大男声合唱団OBたちが集まる大阪男声合唱団を加えてほしい」と発言され、演奏会終了後に、あらためて5団体の幹事が集まって翌1982年から「五つのOB男声合唱の夕べ」として再スタートしました。

当時集まった幹事は、露口佳彦（アルマ・マータ・クワイア）、上田稔（南漣会合唱団）、中村充男（コール・アカデミー関西OB会）、今村陽一（大阪男声合唱団）、渡辺政雄（六甲男声合唱団）のみなさんでしたが、上田、中村、渡辺の三氏には、もうお会いするすべもなくなりました。40年の時の流れを感じるとともに、三氏の「ANCORの会」へのご尽力に、深く感謝する次第です。

さて第5回演奏会終了後に集まりの名称を検討し、偶々並べた5団体の頭文字が「ANCOR」であることから、現在の「ANCORの会」となりました。

発足当時40年も続くとはとても思えなかったこの会が、本日第40回記念演奏会を開催できることは、もちろん参加各団の努力もありますが、ひとえに団員を支えてくださるご家族、また毎回ご来場いただく皆様方の熱心なご支援の賜物とあらためて心より御礼申し上げます。また各団のみなさんと、すばらしい人間関係を得ることができた「ANCORの会」に感謝します。

コール・アカデミー関西OB会の舞台復帰を願うとともに、10年後には第50回演奏会を迎えることができますよう、どうぞこれからも見守ってください。



第2回演奏会合同演奏（指揮：今西弘一、1982年5月15日、森ノ宮ピロティホール）

今西弘一さんは第1回～第38回演奏会に連続出演。第2回、第7回、第13回および第28回演奏会の合同演奏指揮者。南漣会合唱団を指揮されるとともに、六甲男声合唱団でも活躍されていましたが、本稿寄稿後2021年4月に逝去されました。

プログラム

1 アルマ・マータ・クワイア

男声合唱曲集「地平線のかなたへ」より

詩：谷川俊太郎 作曲：木下牧子

- ① 春に
- ② サッカーに寄せて
- ③ 二十億光年の孤独
- ④ 卒業式

指揮 太田茂之 ピアノ 福島久仁子

2 南漕会合唱団

「唱歌の四季」

編曲：三善 晃

- ① 朧月夜 文部省唱歌 作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一
- ② 茶摘 文部省唱歌 (作詞・作曲 不詳)
- ③ 紅葉 文部省唱歌 作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一
- ④ 雪 文部省唱歌 (作詞・作曲 不詳)
- ⑤ 夕焼小焼 作詞：中村雨紅 作曲：草川 信

指揮 海谷叔伸 ピアノ 石幸千照

3 大阪男声合唱団

男声合唱組曲「Enfance finie」

作詩：三好達治 作曲：木下牧子

- ① Enfance finie
- ② 物語
- ③ 毀れた窓
- ④ 乳母車

指揮 萩原寛明 ピアノ 内藤菜穂子

4 六甲男声合唱団

チャイコフスキー歌曲集より

編曲：福永陽一郎

- ① 何故？
- ② 騒がしい舞踏会で
- ③ 語るな、わが友よ
- ④ ただ憧れを知る人だけが
- ⑤ ドン・ファンのセレナーデ

指揮 井上和雄 ピアノ 島崎央子

5 合同演奏 ～絆に結ばれ～ 男声合唱愛唱歌

① 「希望の島」

訳詞：小松玉巖 作曲：M.M.ジョーンズ 編曲：D.B.タウンナー

指揮 井上和雄（六甲男声合唱団）

② 「上を向いて歩こう」

作詞：永 六輔 作曲：中村八大 編曲：北村協一 改作：宮内 泰

指揮 宮内 泰（南漣会合唱団）

③ 男声合唱組曲「富士山」から作品第肆

作詩：草野心平 作曲：多田武彦

指揮 上床博久（アルマ・マータ・クワイア）

④ 男声合唱組曲「柳河風俗詩」から柳河

作詩：北原白秋 作曲：多田武彦

指揮 坂田裕二（大阪男声合唱団）

第1ステージ

アルマ・マータ・クワイア 男声合唱曲集「地平線のかなたへ」

木下牧子さんの曲を取り上げようと思ったのは、生きている作曲家を取り上げる意味を考えたからです。クラシックという定義は様々だと思いますが、一つに「時代を超える」という概念があるのではないのでしょうか。歌でいうと、「歌い継ぐ」ということだと思います。本ステージでアルマ・マータ・クワイアが目指すのは、次のクラシックへかかわっていくことです。

「地平線のかなたへ」は大学合唱団、高校生など若い世代の合唱団がよく取り上げています。この曲の背景には確かに「若さ」を感じさせる音楽も多いようです。しかし、誰もがそういう“若い”時代は生きたはずで、今後もそうでしょう。そこに世代を超えたテーマの存在を感じます。この曲が少しでもクラシックに近づくようになれば、と思っています。

1. 「春に」

春の訪れは小さな気づきから始まります。その気づきが大きくなって桜が開花するように一気に膨らみます。春はいろんな新しい出会いや気づきが生まれる季節かもしれません。新しい出会いには期待もあり不安もあります。しかし、気持ちが揺らぎながらも新しい一歩を踏み出さずにおれない。自然と同じように人もまた。

2. 「サッカーに寄せて」

サッカーボールを無心で追いかける。素直な想いでたくさんぶつかりあって、そしてお互いを理解して仲間になっていく。本当の仲間の作り方、「おとな」になると忘れてしまうのかもしれませんが。言葉以前の清々しいまでのエネルギー。それをよみがえらせてくれる歌。

3. 「二十億光年の孤独」

地球のほかに、「生命体」はいるのか。こんな想像は多くの方がしたのではないのでしょうか。いるならそいつに会いに行きたい。仲間になってみたい。仲間を探すのは、地球人としては宇宙で孤独だからなのかもしれない。宇宙を見つめ想像を巡らせる人

間、これもまた宇宙の生み出した不思議な存在。そういえば宇宙を探る最先端の望遠鏡もアルマ！

4. 「卒業式」

卒業するとは、いままでの場からいなくなること。そういう意味で卒業は一生でたくさん経験するものなのかもしれません。そんなさみしさを感じつつ、今までの楽しかった思い出が幾つもよみがえってくる。そのすべてを受け止めて次の世界に旅立っていく。ひとつの終わりは、いつでも新たな未来の始まり。

(太田茂之)

指揮 太田茂之 (おおたしげゆき)

京都大学農学部卒業後、奈良先端科学技術大学院大学にて博士後期課程修了。現在企業での研究員として働く。

2016年に男声合唱団アルマ・マータ・クワイアに入団、2018年より指揮者。指揮法、アンサンブル法を齊田好男氏に師事。現職の傍ら、生涯現役のコーラス、指揮法、発声法を研究しながら、邦人合唱曲、Barbershop、教会讃美歌などで指揮。現在、アルマの他に”The Lockers”、京大合唱団同窓会合唱団男声、日本基督教団洛北聖歌隊指揮者。



ピアノ 福島久仁子 (ふくしまくにこ)

大阪音楽大学卒業、インディアナ州立ボール大学大学院修了。歌曲伴奏をウィーン国立音楽大学教授 チャールズ・スペンサー氏から、合唱伴奏を田中信昭氏から、それぞれ徹底訓練を受けた。

オペラ、ミュージカルのリハーサルピアニストとして、また合唱団ピアニストとして、数多くの歌手、指揮者より信頼を得て活動中。

最近では歌曲演奏会を中心に、シューベルト協会リート学校の伴奏、関西演劇人と『朗読とピアノ』の共演、サロンコンサートの企画、後進の指導にも力を入れている。



南漣会合唱団 「唱歌の四季」

三善晃「唱歌の四季」は、元々は児童合唱に編曲した日本の唱歌を、混声合唱の編曲を経て男声合唱に編曲したものです。

唱歌は明治初期から学校教育用に作られた歌のことを示しますが、大正時代に教育押付けとして唱歌を批判する童謡復興運動が興りました。その中心人物のひとり、北原白秋は「教訓的で大人の心で詠まれた唱歌を子供に押しつけている今日の唱歌教育は不自然極まる」と批判しています。

とはいえ、この5曲は子供の時の思い出を蘇らせるのに十分になじみのあるものばかりです。ある団員のエピソードとして、お孫さんから「じいちゃん、この歌知っている？」と聞かれて、「いま歌っているよ」と答え、「だったら一緒に歌って」と言われて楽しいひと時を過ごしたそうです。いつの時代も、世代を超えて一緒に歌える曲があるのはすばらしいことです。

1. 朧月夜

高野辰之作詩、岡野貞一作曲で、このコンビで「故郷」「春の小川」など有名な曲が多くあります。高野の出身地である長野県の北信地方には一面に菜の花畑が広がっているようで、夕方の霞んだ空に月が浮かんでいる光景が目につかびます。

2. 茶摘

子供の頃、この曲で手合わせ遊びをした方も多いでしょう。歌詞には京都・宇治田原村の茶作歌の一部が使われているそうです。

3. 紅葉

朧月夜と同様に高野と岡野による曲です。高野の故郷の長野の山々や帰郷の時に見た軽井沢の碓氷峠の紅葉を詠んだともいわれています。

4. 雪

「雪やこんこ」が歌詞ですが、子供の頃は「雪やこんこん」と間違っただけの歌です。雪は「しんしん」降るもので、「こんこん」とは降りませんね。この「こんこ」は「来う来う」と雪を呼び歓迎するもの

らしいです。でも、京都の童歌では「雪やこーんこん」と歌われているそうです。

5. 夕焼小焼

いまでも各地で、夕方に帰宅を促すこの曲が拡声器で流れてくるのを聞きます。じつはこの曲は正確には唱歌ではなくて童謡に分類されるもので、作詩の中村雨紅が八王子から実家まで四里を歩いて帰るときの夕暮れを詠んだそうです。

(海谷叔伸)

指揮 海谷叔伸 (かいはよしのぶ)

1977(昭和52)年大阪市立大学理学部卒。大阪府立旭高校音楽部在籍時より指揮者としてスタートし、大阪市立大学グリークラブでも指揮を担当する。大学卒業後より、旭高校音楽部のOB合唱団であるコールAOにおいて指揮者および合唱団員として現在に至る。南漣会合唱団には2017年1月の90周年記念フェスティバルを機に入団、2018年5月ANCORの会で指揮者としてデビューする。邦人組曲・日本歌曲・黒人霊歌・演歌?を得意とする。趣味はJAZZとお酒。



ピアノ 石幸千照 (いしこうちあき)

大阪芸術大学を学費全額免除生として卒業。同大学芸術専攻科修了。卒業時、演奏学科研究室賞受賞。卒業演奏会、関西新人演奏会に出演。第1回大阪国際音楽コンクール入選。



1999年秋期特別コースにて、A.イエンナー氏に、2001年マタイザー・ゾンマー・アカデミーにてG.ロードヴィツヒ氏に師事。これまでに、故岡坂恭子、U.シュニーベルガー、平井令奈の各氏に師事。

2004年ジョイントリサイタル開催。2005年、関西フィルハーモニーオーケストラと協演。2006年、ロシアにて国立アカデミーオーケストラと協演。大阪芸術大学伴奏要員を経て、現在関西女子短期大学非常勤講師、NHKコールマドリガル、エトワールかしわら、女声合唱団ソルシエール、南漣会合唱団のピアニストを務める。全日本ピアノ指導者協会会員。

大阪男声合唱団 男声合唱組曲「Enfance finie」

男声合唱組曲 *Enfance finie* (アンファンス・フィニ) ~過ぎ去りし少年時代~は、木下牧子の数ある合唱作品の中でも最も初期のもので、1987年に作曲されました。音楽は比較的シンプルで、美しい旋律やハーモニーがふんだんに用いられた魅力に溢れる作品です。テキストには三好達治の4編の詩が用いられています。

三好達治は1900年(明治33年)大阪市出身の詩人で、戦前から戦後にかけて活躍し、昭和期を代表する抒情詩人とも評されています。4編の詩は、詩人が比較的若い年代に書かれた詩集「測量船」、「測量船拾遺」、「一点鐘」からですが、追憶、恋の切なさ、郷愁、母への想いといった心情は、現代を生きる私たちにとっても大いに共感できるどころです。

1. *Enfance finie*

大海原をイメージさせるようなピアノ伴奏と、深いため息のようなヴォカリーゼ。それに続く追憶のような断片的なモチーフには虚しさや切なさを感じられます。テンポの緩やかな中間部では、果たされなかった約束、高みへの憧れ、人との別れが感傷的に語られます。そして音楽は再び躍動的に流れ出し、新しい旅立ちの決意が歌われます。

2. 物語

ダイナミックな前奏。恋の物語を読む詩人と、まるでそれを聞きたいかのように飛来する鳥の様子。結ばれることのなかった恋人との物語でしょうか。やがてそれは罪の物語へと変わり、鳥はまるでそれを聞いているかのように詩人に寄り添います。ゆったりとした叙情的な曲想の中にドラマティックな表現が盛り込まれています。

3. 毀れた窓

軽快でリズムカルな3拍子に乗って、廃屋の壊れた窓から見えるほのぼのとした5月の海の情景が鮮やかな色彩感覚で描かれています。転調を伴った間奏のあと、窓に不思議と故郷の街の景色がよみがえり、そこを歩く若かりし頃の自分の姿が映し出され、帰ることのない過ぎ去りし日々がしみじみと思い出されます。

4. 乳母車

淡く悲しい紫陽花色のものが降る情景の中で、音楽がまるで乳母車のように淡々と進んでゆきます。和声的な音楽は次第に重厚感を増し、中間部では転調が効果的に用いられ、幼少期の自分を通して母への想いが静かに歌われます。そして音楽は再び動き出し、その先に続く果てしなく長い人生を予感し壮大に結ばれます。

(萩原寛明)

指揮 萩原寛明 (はぎわらひろあき)

京都市立芸術大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了。ウィーン国立音楽大学卒業。

ウィーン留学中にはアーノルト・シェーンベルク合唱団に所属し、世界的指揮者らのもと、ヨーロッパ各地での演奏会や録音等に参加し、合唱に対する造詣を深めた。現在は、バリトン歌手としてオペラや演奏会に多数出演するとともに、合唱指揮の分野でも意欲的に活動している。

現在、関西二期会会員。神戸女学院大学、京都教育大学各講師。混声合唱団 Xsing、大阪男声合唱団、大阪ゲヴァントハウス合唱団、混声合唱団エヴァグリーン、河内長野ラプリーホール合唱団各指揮者、大阪大学男声合唱団ヴォイストレーナー。

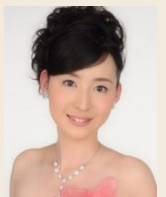


ピアノ 内藤菜穂子 (ないとうなほこ)

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、神戸女学院大学音楽学部卒業。同大学院音楽研究科修了。

鈴木豊子記念賞受賞。兵庫県立美術館、兵庫県民会館、カワイ梅田ジュエにてソロリサイタル開催。神戸女学院大学オータムコンサート、同大学新人演奏会、第85回読売新人演奏会、修士課程修了披露演奏会等多数出演。これまでに山本未央、小西豊子、松村英臣、成瀬修、坂井千春、山上明美の各氏に師事。

現在、神戸女学院大学伴奏要員、エリーゼ音楽アカデミー講師、神戸ピアノステーションピアノ講師を務めるかたわら、ソロ、室内楽、伴奏など幅広く活動している。



六甲男声合唱団 「チャイコフスキー歌曲集より」

チャイコフスキー（1840～1893年）は60曲ほどの歌曲を遺しています。オペラを幾つも作曲している彼は歌曲の分野でも優れた作品を残しています。どれもロマン派の詩情あふれるものです。今日は、そのうちの5曲を福永陽一郎が編曲したものを歌います。ただ福永陽一郎はドイツ語の歌詞を使っていますが、今日は元のロシア語で歌います。

1. 「何故？」（作品6の5）

この作品はハイネの詩をロシア語に翻訳したものを使っています。「何故春なのに薔薇はこのように色褪せるのだ」という章句で始まる詩は、青年のやるせない孤独な想いを謳い上げます。その想いに寄り沿うチャイコフスキーの旋律は見事です。

2. 「騒がしい舞踏会で」（作品38の3）

詩はトルストイのものです。舞踏会で見染めた女の瞳、声、その楚々とした姿が忘れられない。その幻想に浸りながら、これが愛と云うものだろうかと自問自答する若者の気持がワルツテンポで優美に歌われます。そのモデルとなった女性は後にトルストイの妻になったミルレルだと云われています。その心情がさぞやと思われる歌曲です。

3. 「語るな、わが友よ」（作品6の2）

ハルトマン（独人）のロシア語訳もまた青年に語り掛けた詩です。おそらく失恋に打ちひしがれた友に、「黙っていよう、ため息もつくまい」とバリトンの独唱が語り掛けます。

4. 「ただ憧れを知る者のみ」（作品6の6）

これはチャイコフスキーの歌曲の中でも最もよく知られた名曲です。ゲーテの「ヴィルヘルム・マイスター」の中のミニョンの歌をメイがロシア語に訳したものに曲がつけられています。想い焦がれた女への苦しい憧れを歌った、想いの溢れる名曲です。

5. 「ドン・ファンのセレナーデ」（作品38の1）

詩はトルストイの劇詩「ドン・ファン」から取ら

れたもので、軽快な3拍子で力強く、ドン・ファンの奔放な情熱が歌われています。モーツァルトのオペラ「ドン・ジョバンニ」を知っていたチャイコフスキーが、その向こうを張って頑張って書いたのではないかと思わせる力作です。皆さんにも楽しんで頂けたらと思います。

（井上和雄）

指揮 井上和雄（いのうえかずお）

六甲男声合唱団音楽監督兼指揮者、女声合唱団クールフレール指揮者。神戸大学経済学部卒、在学中グリークラブ指揮者。

著書に「モーツァルト 心の軌跡」（サントリー学芸賞）、「ベートーベン 闘いの軌跡」・「ハイドン ロマンの軌跡」・「シューベルトとシューマン—青春の軌跡」（いずれも音楽の友社）、「ロンドン音楽紀行」（神戸新聞社）、「さらばヘーゲル」（日本経済評論社）など多数、また画家としても大阪で毎年個展を開催。神戸商船大学（現神戸大学海洋政策科学部）名誉教授。

今年の12月3日（土）創立68周年定期演奏会（神戸新聞松方ホール）に向けて練習を開始する。また今後2年先の創立70周年記念定期演奏会に向けても意欲的に取り込む。

今年の12月3日（土）創立68周年定期演奏会（神戸新聞松方ホール）に向けて練習を開始する。また今後2年先の創立70周年記念定期演奏会に向けても意欲的に取り込む。

ピアノ 島崎央子（しまざきひろこ）

神戸女学院大学音楽学部音楽科器楽専攻ピアノ科で学ぶ。1992年同学部を首席で卒業。1993年音楽専攻科を首席で修了。山上明美に師事。

ハンナ・ギュリック・スエヒロ賞を受賞。第62回東京読売新人演奏会に出演。神戸女学院大学オーケストラ、関西フィルハーモニー管弦楽団と協演。2010年8月、2014年10月には、ベートーベン・ピアノ四大ソナタを一日で連続演奏し、絶賛を博す。

今年のソロコンサートはアミティホールで5月28日ベートーベン四大ソナタを、11月23日にオールシヨパンプログラムの開催を予定。

2006年から六甲男声合唱団の伴奏ピアニストを務めている。



① 「希望の島」(のぞみのしま)

この曲は、男声合唱曲として戦前から歌いつがれた名曲です。六甲男声合唱団でも、定期演奏会にはアンコール曲としてよく歌いましたし、団員が亡くなられたときは、必ずこの歌でお見送りするのが慣例になっています。それで今回もこの名曲を取り上げたのですが、調べてみますと、吉居清という方がこの曲の成立事情と日本で歌われるに至った経緯について詳しい論考を発表しておられることが分かりました。ここでも氏の論考をもとに掻い摘んでこの曲について書きますが、詳しくはそちらをご覧ください。

作曲者の M.ジョーンズ (1834～1905) の経歴は全く知られていないようですが、ともかくこの曲は 19 世紀後半のアメリカのキリスト教福音派の讃美歌の一つとして生まれています。それを男声四部合唱曲に編曲したのは D.タウンナー (1850～1919) そして、それが 20 世紀初頭に日本に伝わって同志社、関学、慶応、早稲田などの大学グリークラブを中心に歌われるようになりました。その歌詞の内容は、キリストが述べ伝えたといわれる楽園いわば常春の島を描いたものになっています。原名は That Beautiful Land、作詞家の小松玉巖は作曲家小松耕輔の詩人としてのペンネームです。お聞きの通り、静かで素敵な曲です。

(井上和雄)

② 「上を向いて歩こう」

作曲者中村八大のオリジナル楽譜が二分音符の歌いだしになっているところを、発表時 19 歳の坂本九が四分休符をいれて歌い、裏拍で始まる現在の歌になったこと、また作詞者の永六輔は、坂本九の歌い方にいたく失望していたことが、2020 年 2 月放送の NHK ドキュメンタリー番組で紹介されています。しかし、その後 1961 年に NHK TV 「夢で逢いましょう」をきっかけに大ヒットしたこの曲が、日系人の多い西海岸の放送局から電波に乗った途端に、1963 年米国内でも全米第 1 位の大ヒット、ついには歴史に残る「SUKIYAKI」として、世界中で 1,300 万枚売れたわけです。

コロナで苦闘する私たちが、これを吹き飛ばす意味でも、今日歌いたいと思います。私たちばかりでなく、ご来場の皆様方の、そして世界中の愛唱歌です。

(宮内 泰)

③男声合唱組曲「富士山」から作品第肆

若き日の作曲家多田武彦氏第 2 作目の作品、男声合唱組曲「富士山」から「作品第肆」を歌います。

この組曲は草野心平の詩集「富士山」から選ばれた五つの詩に作曲されたもので、「作品第肆」はその 2 曲目に置かれています。詩集「富士山」は富士山をうたった 26 篇の詩からなっており、順番に作品第壱、作品第貳、…のように「壱、貳、参、肆、伍、陸、質、捌、玖、拾」の文字を使って番号が付けられており、「作品第肆」は詩集四番目の詩です。

川面に春の光がまぶしく溢れる荒川土手に座って、心平詩人は春愁を覚えつつ少女たちがうまごやし(マメ科の植物)の花を摘んではそれを縄にして縄跳びをする、その様子に見入っています。縄跳びの縄が描く円の中に富士山が入ります。葦の葉陰から行々子(よしきり)の鳴き声が聞こえる物憂い春の昼下がり。多田さんはこの詩に優しく穏やかな旋律に律動的なリズムを織り交ぜて作曲しました。昭和 31 (1956) 年 12 月、第 27 回京大合唱団定期発表会で初演されたこの組曲は、それから 63 年経った今日なお全国各地の男声合唱団によって歌い継がれ、なかでもこの「作品第肆」は春の愁いを含んだ美しい叙情が、曲の歌いやすさと相俟って、アルマだけではなく、全国男声合唱メンの愛唱歌となっています。この組曲の作曲当時、多田武彦さんはアルマ・マータの団員であり、指揮者を務めていました。

(増田 博)

④男声合唱組曲「柳河風俗詩」から柳河

男声合唱組曲「柳河風俗詩」は、多田武彦が北原白秋の詩集『思ひ出』から 4 編の詩を選び、1954 (昭和 29) 年に男声合唱組曲として作曲、翌年 12 月に京科大学男声合唱団によって初演された。

当時の多田は京大を卒業し富士銀行に就職したばかりで、音楽活動を続けるか悩んでいたところであるが、作曲の指導を受けていた清水脩から音楽を続けるよう助言され、「エチュード(習作)として」書いたのがこの曲である。当時としては数少ない男声合唱のレパートリーとして歓迎され、以後現在に至るまで世代を問わず男声合唱の定番曲として愛唱されている。

(坂田裕二)

合唱団紹介

アルマ・マータ・クワイア

太平洋戦争の末期、敗色の濃い南方の島で従軍中の一青年が、南十字星を仰ぎながら、「もし生きて祖国へ帰ることができたら男声合唱団を作ろう」と思い定めていました。その青年 故・吉田忠男は幸い帰還を果たし、かつてともに歌った男声仲間と昭和22(1947)年7月に開かれた京都大学合唱団定期発表会のOBステージに出演しました。その帰途の反省会でメンバーたちは、吉田の新しい男声合唱団結成の提案に賛同し、7月18日、9人のメンバーが大阪市中央公会堂の一室に集まり、練習を開始しました。同時に、団員が持ち寄った団名案の中から団名を「アルマ・マータ・クワイア」(Alma Mater Choir)と決定しました。〈母校〉を意味するラテン語の Alma Mater は、この9人のメンバーが中学、高校、大学のどこかで学び舎を共にした仲間であることに由来しています。この9人の先輩たちは、①アルマは特定の学校の出身者の集まりではなく、歌の好きな男声を広く迎えともに歌う、②そして、単に合唱をするだけではなく、互いに啓発し合い、家族を含めた終生の友情関係を結ぶ、という方針を確認し合いました。これらは現在に至るも「団是」ともいうべき考え方として生き続けています。

こうしてアルマは歌を愛する男声が集う一般合唱団として出発しました。わが国の経済高度成長期には団員を企業戦士に取られて団員数が激減し存亡の危機に立たされるなど、幾多の変遷を経て、平成29(2017)年に創立70周年を迎えることができ、56人の団員がステージに立って記念演奏会を開き、アメリカ西海岸方面演奏旅行を行いました。

こうして団員数も60名を超え、年一回の定期演奏会のほか、恒例の新年会、秋季合宿、さらに自主研修を目的とした団内音楽会を行うなど活発な活動を続けていた矢先、新型コロナウイルス感染症の蔓延、拡大により合唱界全体が活動の縮小、停止を余儀なくされました。当然アルマもその例外ではあり得ませんが、練習を途切れさせずに団活動を維持するため、オンラン回線を利用し、合唱練習に適した機器やソフトを組み合わせ、緊急事態宣言下でも練習を続けました。感染状況がやや低減してきた昨今でも、集合練習とオンライン練習とを同時併用して、団員各人の体調など環境に合わせた練習を積んでまいりました。通常時に比べると練習不足は否めませんが、このような情熱をもって取り組んできた私たちの歌声をお聴きください。

<出演メンバー> 31人

T1	岩本 論	上床 博久	大内 誠	大澤 孝
	坂井 俊朗	南茂 泰三	林 茂紀	町田 信雄
	的場 輝佳	山田 裕史	吉國 義明	
T2	市川 邦彦	海上 正彦	太田 茂之	奥 泰夫
	谷野 敏雄	前田 康夫	吉里 文雄	
B1	芦田 寛	香川 睦	木本 実美	杉本 修
	畑山 勝明	望月 道章		
B2	石橋 克己	川口 義行	富田 勇一	西村 勝
	増田 博	森崎 実	山下 千之	

南漣会合唱団

旧制大阪商科大学(大阪市立大学を経て今年4月大阪公立大学)グリークラブのOBが集まって1940年(昭和15年)に発足。現在はOB以外のみなさんも広く参加している男声合唱団です。ホームページもご覧ください。

<練習>毎週土曜16時~19時、東大阪市文化創造館(近鉄八戸ノ里駅北すぐ)。ピアニストは石幸千照さん。バリトン歌手木村孝夫さんが月一度ボイストレーニング。

<演奏会>年2回...定期演奏会および旧三商大OB男声合唱団交歓演奏会が2年に各1回、四つの男声合唱団の集い(ANCORの会)が毎年1回。2019年6月には大阪シンフォニック クワイアに加わり、ベルリオーズ「レクイエム」を演奏。2022年11月に、創立80周年記念第22回定期演奏会を東大阪市文化創造館大ホールで開催予定。

<メンバー>現役の大阪公立大グリー部員の参加を期待しつつ、心も身体も健やかに育ちつつあるメンバーが、ANCORの会第50回演奏会、南漣会合唱団創立100周年をめざして歌い続けます。

<出演メンバー> 42人

T1	岡橋 博	神代 一徳	寶木 健一	田中 宏和
	長田幸一郎	福家 伸治	松波 謙至	森本 眞一
	吉田 教昭	荒木 陸		
T2	今村 肇	尾崎 納	白井 清貴	富増 和彦
	長谷部資朗	宮内 泰	宮長 夏希	
B1	石原 潤一	太田 一忠	瀧井 尚志	辻 秀郎
	出口 順三	野津 直樹	花澤 光正	松井 繁明
	安井 永	横田 卓郎	伊藤 誠悟	牧野 茂彰
B2	赤崎 弘平	今道 隆夫	扇田 豊	小倉 裕
	海谷 叔伸	曾家 義晴	田中 彰一	仲嶋 研一
	牟田 岑男	和田 昭夫	梅津 郁也	橋本 光稀
	草野 浩虎			

大阪男声合唱団

大阪男声合唱団は、大阪大学男声合唱団(阪大男声)OB等の合唱団として1954年に発足し、1959年までは毎年の阪大男声の定期演奏会に賛助出演したほか、関西の合唱祭はじめ多方面で活発に活動を行いました。

その後20年余りは休眠状態になりましたが、1980年から活動を再開し、1982年5月には「五つのOB男声合唱の夕べ」に出演し、ANCORの会として続いています。

1990年代の終わり頃から、阪大男声草創期のOBが職場の現役を引退する時期を迎え、それら諸先輩によってOB会と大阪男声の体制が再整備されました。そして2001年7月、「第1回大阪男声合唱団定期演奏会」と銘うった単独の演奏会を大阪で開催し、幸いにしてその後も毎年、定期演奏会の開催を続けることができ、第7回は大阪・東京の2回公演、第8～11回は愛知県瀬戸市を加えた3回公演を果たしてきました。2012年の第12回からは大阪と東京の交互開催に改めました。

2017年には団則を改正し、大阪男声合唱団は活動の拠点を大阪府と東京都に置き、それぞれ大阪本部、東京支部として普段の練習と独自の演奏会活動を行うとともに、毎年の定期演奏会は大阪と東京が一致協力して開催するという位置づけを明確にしました。

第20回記念定期演奏会はコロナ禍で1年延期となりましたが、2021年8月29日(日)、住友生命いずみホールで開催しました。今年第21回定期演奏会を東京の第一生命ホールで7月17日(日)に開催します。

大阪本部の独自の演奏会としては、ANCORの会に加え、2017年9月には関西大学グリークラブOB会と合同で「関西OB男声合唱演奏会2017」を開催しました。さらに他の関西の大学OB合唱団に幅広く参加を呼びかけて第2回を開催する計画を進めていましたが、コロナ禍で休止状態になっています。

<出演メンバー> 24人

T1	多田 晴彦 平木 秀男	岡田伸太郎	栗山 和郎	上田 勝己
T2	子安 一男 豊原 力 高橋 宏明	田村 坦之 宇都宮道夫	細谷 正純 久米 勝彦	詠田 英夫 本間 真人
B1	今村 陽一 坂田 裕二	田口 孝人	橋本 達弥	山田 雅朗
B2	中野 洋介 本城 正博	前川 洽治	松宮 啓	佐々木泰介

六甲男声合唱団

1954年に神戸大学グリークラブのOBを中心に創設されました。その後神戸大学以外の大学OBや一般の合唱好きも入団して、オーソドックスな男声合唱団に成長してきました。2018年12月には創立64周年の定期演奏会を神戸新聞松方ホールで開催しました。これまでに、フランス・ドイツへの演奏旅行をはじめ、2018年には台湾での演奏旅行を大成功裡に終え、国内においては隔年開催の定期演奏会、毎年開催の本日の4つの男声合唱団の集い(アンコールの会)、隔年開催の旧三商大OB男声合唱団交歓演奏会等多彩な活動を続けております。



《2019.10.5 旧三商大交歓演奏会、東京六甲との合同ステージ》

音楽監督兼指揮者と、持ち味の異なる2名の団内指揮者に率いられ充実した活動振りは団史上かつてない高揚期を迎えています。欧米の古典曲や邦人の作品、さらには世界の民謡、魅惑の映画音楽など、幅広いレパートリーを

持っております。コロナ禍で3年ぶりの演奏になります。出演者は減りましたが、出演する団員は大いに楽しみたいと考えています。

【本年度の演奏会】「創立68周年定期演奏会」(12月3日(土)、神戸新聞松方ホール)、「島崎央子ピアノリサイタル」に賛助出演(5月28日(土)、11月23日(水)の2回、西宮アミティホール)。

【練習日】毎週火曜日、大阪産業創造館15Fで、18時から20時30分まで練習を行っています。

【連絡先など】永井哲郎 090-2492-5915

tetsunaga9845@yahoo.co.jp

【ホームページ】<https://rokkomc.web.fc2.com/>

<出演メンバー> 26人

T1	小林 和生 西本 憲生	上田 泰雅	後久 義昭	佐々木英洋
T2	井本 芳助 桐ヶ窪 卓	大隅 国雄 白川 秀司	加藤 雅夫 平林 陽	川本 昭男
B1	大谷 遷 松井 嘉和	佐々木道治	藤澤 隆博	前田 豊治
B2	東 尚良 徳重 光彦 村田 一朗	井上 和雄 永井 哲郎	佐藤 敏弘 長央徳太郎	坪内 啓二 三木 邦夫

コール・アカデミー関西OB会

1981年5月、「四つの男声合唱の夕べ」(第1回、森之宮ピロティホール)に参加、ブラームス作曲「ドイツ民謡より7曲」を初めて披露。アルマ・マータ・クワイア、南澤会、六甲男声とのジョイントステージでは「月光とピエロ」を演奏。



1982年5月(第二回)から、大阪男声が加わる。

1983年5月 松井義知さんの指揮で合同演奏にてブルックナーモテット集を歌う。



若かりし頃の松井さん。

その後、団員の高齢化や転勤による人数減少等のため、ANCORの会への参加人数が激減して今日にいたる。

ANCORの会 歴代ステージ 第1回/1981年～第40回/2022年

A アルマ・マータ・クワイア N 南澤会合唱団 C コール・アカデミー関西OB会 O 大阪男声合唱団 R 六甲男声合唱団

第1回 1981	C Brahms: 24 Deutsche Volkslieder より R 男声合唱組曲「水のいのち」 A トスティ 歌曲集 N メンデルスゾーン男声合唱曲集 合同 合唱組曲「月光とピエロ」より	第2回 1982	N 黒人霊歌 O 男声合唱組曲「雪明りの路」 R George Garshwin From "Poggy and Bess" C 「季節と足跡」から、「クレーの絵本第2集」から A ロバート・ショウ合唱曲集 合同 組曲「柳河風俗詩」
第3回 1983	A Reynald Hahn 歌曲集 R 清水脩 しろい火の姿、智恵子抄巻末のうた六首 O Sea Shanty C フランシス・プーランク LAUDES ほか N From the Musical Play South Pacific 合同 Anton Bruckner Motetten	第4回 1984	R G. MAHLER「子供の不思議な角笛」より A 服部公一作品集 N ギリシャ正教聖歌 O 広瀬量平「海鳥の詩」 C ヤナーチェック男声合唱曲 合同 ドイツ合唱曲
第5回 1985	O F. レハール「メリー・ウィドー」から N ロシア民謡集 C 男声合唱組曲「戦旅」 R メンデルスゾーン男声合唱曲集より A Wedding Songs 合同 男声合唱組曲「富士山」	第6回 1986	N フランスの詩による男声合唱曲集「月下の一群」 C 「シューマン男声合唱曲集」 O 五つの男声合唱曲「やさしい魚」 A Brahms 「ジプシーのうた」より R 「二月のテーブル」 合同 シューベルト「男声合唱曲」
第7回 1987	R クリスマスのモテット N THE STUDENT PRINCE C コダーイ男声合唱曲より A E. Grieg「男声合唱のためのアルバム」 O フランスの詩による男声合唱曲集「月下の一群」 合同 黒人霊歌より	第8回 1988	O 男声合唱組曲「四月の顔」より A フォルクローレ曲集 C 「聖セバスチアンのミサ」より N ジプシーの歌 R プーランクとサンサーンスの世界 合同 「メンデルスゾーン男声合唱曲集」より

第 9 回 1989	A 間宮芳生作品集より R ドボルザーク ジブシーの歌 N 黒人霊歌 O 木下幸太郎の詩から C ヨハン・シュトラウス ワルツ 合同 懐かしのミュージカル	第 10 回 1990	C 男声合唱組曲「アンファン・フィニ」から N SEA CHANTY から O 男声合唱組曲「わがふるき日のうた」から R ブラームス「愛のワルツ」から A 日本民謡から 合同 1 4本のホルンでうたう男声合唱 合同 2 オペラの男声合唱を集めて
第 11 回 1991	R 「ミサ・ブレヴィス ニ長調」から O 男声合唱組曲「北斗の海」 A 「遙かなる西部」 C 「サン・サーンス男声合唱曲」 N 「3声のミサ曲」 合同 「日本民謡」	第 12 回 1992	A 古典イタリア歌曲合唱曲集 N ブラームス「アルト・ラブソディ」 C グノー「第2ミサ」 O 男声合唱組曲「中 勘助の詩から」 R マーラー「さすらう若人のうた」 合同 男声合唱組曲「海鳥の詩」
第 13 回 1993	N 日本のうた C 現代イギリス合唱曲から O コダーイ男声合唱曲集から A シューベルト男声合唱曲集から R こうもりのワルツ 合同 トスティ歌曲集から	第 14 回 1994	C シューマン「男声合唱のための六つの歌」 A 「日本の笛」から R ケルビーニ「レクイエム」 O 男声合唱組曲「吹雪の街」 N ロシア正教会聖歌 合同 男声合唱組曲「光る砂漠」
第 15 回 1995	R Die Launige Forelle - 気のいい鱈 - Wien, Weib und Gesang ワルツ - 酒・女・歌 - O 合唱による風土記「阿波」 C Missa "Aeterna Christi munera" N 男声合唱組曲「月光とピエロ」 A 「BARBERSHOP BALLADS」から 合同 二群の男声合唱とピアノのための「路標のうた」	第 16 回 1996	C 黒人霊歌 A 男声合唱組曲「パウラ」 N シューマン「六つの歌」から O 男声合唱組曲「海に寄せる歌」 R グノー「第2ミサ ト長調」より 合同 男声合唱とピアノのための 「風の中で歌う空っぽの子守唄」
第 17 回 1997	O グノー「第2ミサ」から A 男声合唱組曲「父のある庭」 R シューベルト男声合唱曲から N ニグロスピリチュアル C シューベルト「ドイツ・ミサ」 合同 男声合唱組曲「水のいのち」から	第 18 回 1998	A シューベルト「ドイツ・ミサ」 N 日本民謡 C シューベルト男声合唱曲から O 男声合唱組曲「五つのラメント」から R リスト「男声合唱のためのミサ ハ短調」から 合同 男声合唱組曲「三崎のうた・第二」
第 19 回 1999	R ドヴォルザーク「ジブシーの歌」 O 男声合唱組曲「草野心平の詩から・第三」 C ～ヨハン・シュトラウスⅡ世 没後 100 年記念～ N 日本民謡・「三つの抒情」 A 「アメリカの歌」から 合同 男声合唱曲「枯木と太陽の歌」	第 20 回 2000	A シューマン「男声合唱のための六つの歌」Op.33 R 「三つの仕事歌」 C ～ベートーベン合唱曲集～ O 男声合唱組曲「三崎のうた」 N 「ロシア正教会聖歌」 合同 ケルビーニ「レクイエム」ニ短調から
第 21 回 2001	N フィンランドの合唱曲から O コダーイ男声合唱曲 R 「メリー・ウィドー」よりワルツ「美しく青きドナウ」 A 韓国合唱曲 C パプロ・カザルス聖歌集 合同 ミュージカル「ラ・マンチャの男」より	第 22 回 2002	C 男声合唱組曲「尾崎喜八の詩から・第二」 A シューベルト男声合唱曲集 O 男声合唱曲「永訣の朝」 N 信長貴富 男声合唱とピアノのための新しい歌 R MESSE SOLENNELLE より 合同 清瀬保二 男声合唱曲集から
第 23 回 2003	O 男声合唱のための「マザー・グースのうた」 N 男声合唱とピアノのための「さすらう若人の歌」 C 男声合唱組曲「尾崎喜八の詩から・第三」 R 男声合唱とピアノのための「白いうた 青いうた」より A 男声合唱組曲「富士山」 合同 シーシャント	第 24 回 2004	R ラシーヌの雅歌 水の上の精霊の歌 N 男声合唱組曲「夜の青空」 C 男声合唱とピアノのための祝典宗教歌「光あれ」 A 男声合唱組曲「海に寄せる歌」 O シベリウス男声合唱曲から 合同 男声合唱とピアノのための ゆうやけの歌

会場 森ノ宮ピロティホール 第1～7回、大阪国際交流センター大ホール 第8～16、19、21～29、31～34、36回

いづみホール 第17、18回、大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス 第20回

兵庫県立芸術文化センター(KOBELCO)大ホール 第30、35、37～39回、あましんアルカイックホール 第40回

第 25 回 2005	A 合唱のためのコンポジション「日本の民謡」 C 男声四部合唱のための六つの歌（メンデルスゾーン） O 無伴奏男声合唱による日本名歌集「ノスタルジア」から R ルネッサンス期のモテット 7 曲 N まど・みちおの詩による男声合唱のための「五つの風景」より 合同 ～弦楽アンサンブルと共に～ メンデルスゾーン「晩禱」、シューベルト「水の上の精霊の歌」	第 26 回 2006	N フランスの詩による男声合唱曲集 月下の一群① C 男声合唱組曲「尾崎喜八の詩から」 O 男声合唱組曲「Enfance finie」（アンファン・フィニ） A 「コダーイ男声合唱曲集」より R G.フォーレ「レクイエム」 合同 ロシア民謡
第 27 回 2007	A 詩人尾崎喜八の世界～詩集「花咲ける孤独」より～ R シューベルトの男声合唱曲 N 男声合唱組曲「富士山」 O 寺山修司の詩による 6 つのうた 思い出すために A 男声合唱組曲「縦の木の歌」 合同 男声合唱組曲「心の四季」から	第 28 回 2008	A ショスタコヴィチ「十の詩曲」より六つの男声合唱曲から R 「ポーギーとベス」より N 山岸 徹 作品集から C 男声合唱とオルガンのためのミサ O 無伴奏男声合唱のための わたしはカメレオン 合同 SEA CHANTY
第 29 回 2009	N 日本のポップス A 男声合唱組曲「春のいそぎ」 R F.リスト「オルガンと男声合唱のためのミサ ハ短調」より O 男声合唱組曲「水のいのち」 C リスト無伴奏男声合唱曲 合同 ベルリオーズ 劇的物語「ファウストの劫罰」より	第 30 回 2010	O 男声合唱組曲「方舟」 A リヒャルト・シュトラウス「愛の詩集」より N 男声合唱のための 宮崎 駿 アニメ映画音楽 R 民謡を訪ねて C シャルル・グノー「第 2 ミサ」より 合同 男声合唱組曲「月光とピエロ」
第 31 回 2011	R 「イタリアからの調べ」 C A.ブルックナー 世俗的男声合唱曲集より A 男声合唱組曲「水のいのち」 N MUSICAL SELECTION O 男声合唱とピアノのための「花に寄せて」 合同 男声合唱組曲「御誦」	第 32 回 2012	O 男声合唱曲「永訣の朝」 R 「イタリア・モテット集」 N 男声合唱組曲「おかあさんのばか」 C J.G.ラインベルガー「ミサ曲へ長調」Op.190 A 男声合唱とピアノのための「ジプシーの歌」 合同 男声合唱組曲「雪と花火」
第 33 回 2013	A 男声合唱組曲「眠りの誘ひ」 N 男声合唱曲集 さだまさし作品による「関白宣言」 C 男声合唱組曲「東京景物詩」 R I.ケルビーニ レクイエム ニ短調 O 男声合唱組曲「光る刻」 合同 男声合唱組曲「富士山」	第 34 回 2014	R 大中 恩 作品集 O 無伴奏男声合唱による日本名歌集「ノスタルジア」から A 男声合唱組曲「わがふるき日のうた」 C 聖セバスチアンのミサ N 男声合唱のためのヒットメドレー「HANA」 合同 男声合唱組曲「海鳥の詩」
第 35 回 2015	N 男声合唱のためのレクイエム「碑（いしぶみ）」より O 男声合唱組曲「明日へ続く道」 C J.S.バッハ：モテット III『イエスよ、我が喜び』BWV227 R 珠玉の名曲集 A 男声合唱組曲「海の詩（うた）」より 合同 「高田三郎 名曲の泉」	第 36 回 2016	A 「トスティ歌曲集」から N 日本の歌 名歌集 C 男声合唱組曲「月光とピエロ」 O 男声合唱曲「島よ」 R 「さすらう若人の歌」 合同 男声合唱組曲「柳河風俗詩」
第 37 回 2017	R 中村茂隆作品集より A 創立 70 周年委嘱曲 N 中島みゆき名曲集より O 男声合唱とピアノのための「新しい歌」 合同 男声合唱曲集「関白宣言」より	第 38 回 2018	O 男声合唱による 10 のメルヘン「愛する歌」から R 美しく青きドナウ ウイーン我が夢の街 A 男声合唱組曲「雨」 N 男声合唱とピアノのための組曲「憧れと共に」 合同 男声合唱曲「永訣の朝」
第 39 回 2019	N 男声合唱とピアノのための五つの風景 から O 男声合唱とピアノのための「くちびるに歌を」 R Spirituals（スピリチュアルズ） A 男声合唱組曲「縦の木の歌」 合同 「大中恩作品集」から	(第 40 回) 2020 中止	A 「自由、そして未来へ」～時をつなぐ歌たち N 「唱歌の四季」 O 男声合唱組曲「水のいのち」 R 民謡をたずねて 合同 ～絆に結ばれて～ 男声合唱愛曲集
(第 40 回) 2021 中止	A 「自由、そして未来へ」～時をつなぐ歌たち N ロシア民謡 O 男声合唱組曲「水のいのち」 R 魅惑のスクリーンミュージック 合同 ～絆に結ばれて～ 男声合唱愛曲集	第 40 回 2022	A 男声合唱組曲「地平線のかなたへ」 N 「唱歌の四季」 O 男声合唱組曲「Enfance finie」 R チャイコフスキー歌曲集より 合同 ～絆に結ばれ～ 男声合唱愛曲集

(コロナ禍により第 40 回演奏会は 2 年続いて中止・延期を余儀なくされた)



A N C O R

アルマ・マータ・クワイ 南澤会合唱団 コール・アカデミー関西OB会 大阪男声合唱団 六甲男声合唱団
(休会中)

